

# 母子健康手帳：今後の展望

---

2025年12月12日(金)

大阪大学大学院医学系研究科

次のいのちを守る人材育成教育研究センター

特任准教授 當山 紀子

# 母子健康手帳に関する経歴（抜粋）



| 時期    | 所属・イベント  |                 |
|-------|--|-----------------|
| 1993年 | 大阪府立母子保健総合医療センター   | 小児科看護師          |
| 2000年 | 東京大学医学系研究科国際保健学専攻修士課程  | 第1回国際母子手帳会議に出席  |
| 2001年 | JICA母と子の健康手帳プロジェクト（インドネシア）   | 地域保健専門家         |
| 2003年 | NPO法人Health and Development Service(HANDS)<br>JICA母子保健研修（インドネシア）担当 | 海外研修コーディネーター・講師 |
| 2004年 | 埼玉県朝霞保健所   | 保健師             |
| 2006年 | JICA母子保健プロジェクト（パレスチナ）  | 地域保健専門家         |
| 2006年 | 厚生労働省 母子保健課  | 看護技官            |
| 2015年 | 43歳で出産   | 母子健康手帳ユーザーに！    |
| 2019年 | 令和元年度子ども子育て支援推進調査研究事業「母子健康手帳の多言語化および効果的な支援方法に関する調査研究」              | 検討委員            |
| 2020年 | 厚生労働科学研究費補助金「母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない採母子保健サービスに係る研究」         | 分担研究者           |

# 母子健康手帳とは？



- ・妊娠中、出産、子どもの情報と記録
- ・妊娠婦・子どもとその家族が所有



# パレスチナの母子健康手帳

イスラエルによる占領下でのパレスチナでは、**イスラエルによる経済封鎖や分離壁、外出禁止令**などで、経済活動や日々の移動が制限



母子保健サービスが標準化されておらず、**産前産後や乳幼児の健診の記録も統一されていない**ため、母子が継続したサービスを受けにくい

新たな分離壁や検問所の封鎖で、**多くの女性が医療施設に通えなくなり**、出産の兆候や異常を早期発見できない

移動の制約に加え、**妊娠出産のリスクや子どもの健康管理に対する意識が低く**、産後健診、乳幼児健診の利用率は低迷



# 日本での研修について <パレスチナ編>

- ・パレスチナ版の母子手帳を始める為、パレスチナの行政官、産婦人科医等が来日し、ドラフトを作成。（2006年2月）



2006年5月 パレスチナへ



・パレスチナ保健庁



# 母親達へのFGD



# 母子健康手帳を使用した健診 (プレテスト)



# 保健スタッフへの研修



テーマ : Growing Together :

15 Years of UNRWA Experience with Japan's Maternal and Child Health Handbook  
共に成長する : 日本によるUNRWA支援70周年記念式典とパレスチナ母子手帳15周年の歩み

主催 : 国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA) / 共催 : 国際協力機構(JICA) / 後援 : 国際母子手帳委員会、日本WHO協会

The screenshot shows the UNRWA website header with the logo and navigation links: ホーム, UNRWAとは, 活動報告, 動画一覧, プレスリース, メディア実績, 寄付について. Below the header, a breadcrumb navigation shows: ホーム > 活動報告一覧 > 母子手帳関連イベント@ガザ(2023/6/6)ご報告.

## 母子手帳関連イベント@ガザ(2023/6/6)ご報告

① 2023.7.24 ② 2023.7.24 #難民支援 #医療支援 #ブログ

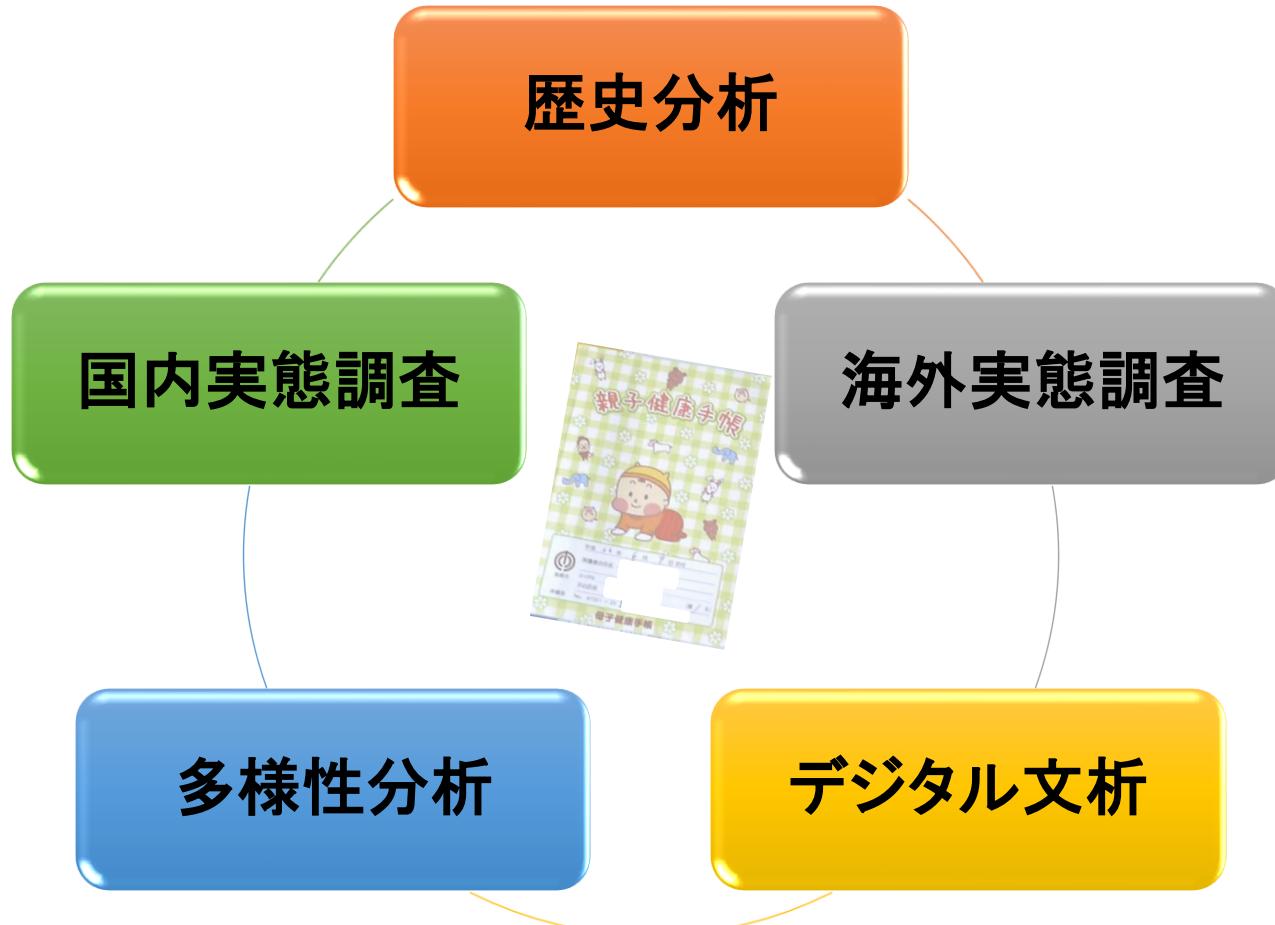


6月にガザ地区南部・ハンユニスの「日本クリニック」にて、日・UNRWA70周年、また母子手帳のUNRWA活動地域への導入15周年を記念したイベントを開催しました。クリニックは名前の通り、日本の資金で設立され、多くのパレスチナ難民が利用している場所です。



出典 : <https://www.unrwa.org/japan70th/blog/mchhandbookevent/>

「母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と  
切れ目のない母子保健サービスに係る研究」  
(研究代表者：中村安秀、分担研究者：當山紀子、他)  
厚生労働科学研究費補助金 (2020–22年)



# 提言：「だれひとり取り残されない」 母子手帳のあり方

---

1) 母子保健に関するオールインワンの情報の宝庫

---

2) デジタルとアナログの両立

---

3) 個人情報保護と健康の権利

---

4) 少数派への温かなまなざし

---

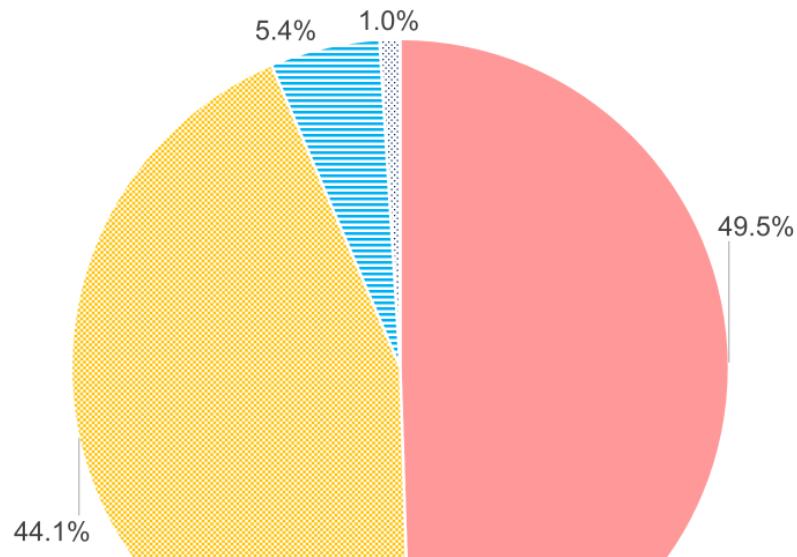
5) 母子手帳は子どものものである

中村安秀ら、母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と  
切れ目のない母子保健サービスに係る研究報告書 2022

# 国内実態調査

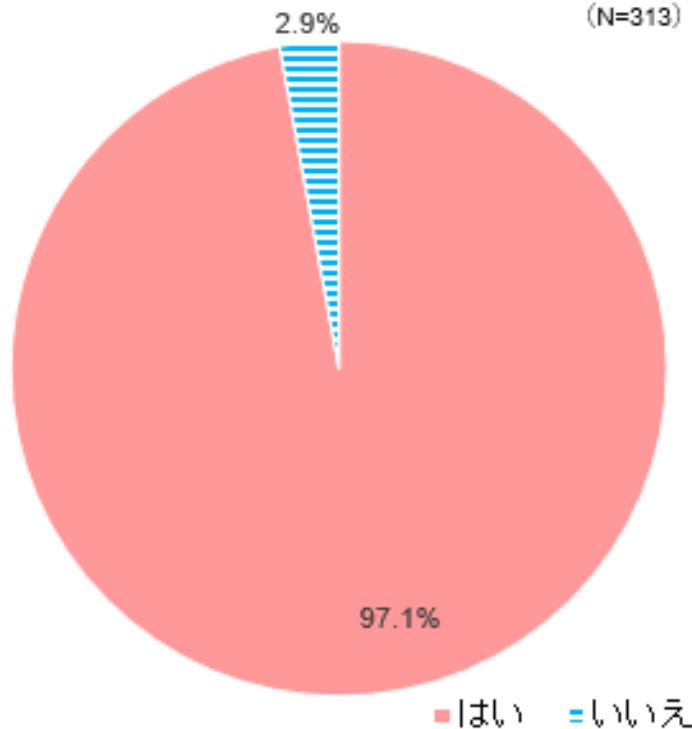


母子健康手帳は役に立ちましたか？  
(N=313)



- とても役に立った
- 少し役に立った
- あまり役に立たなかった
- まったく役に立たなかった

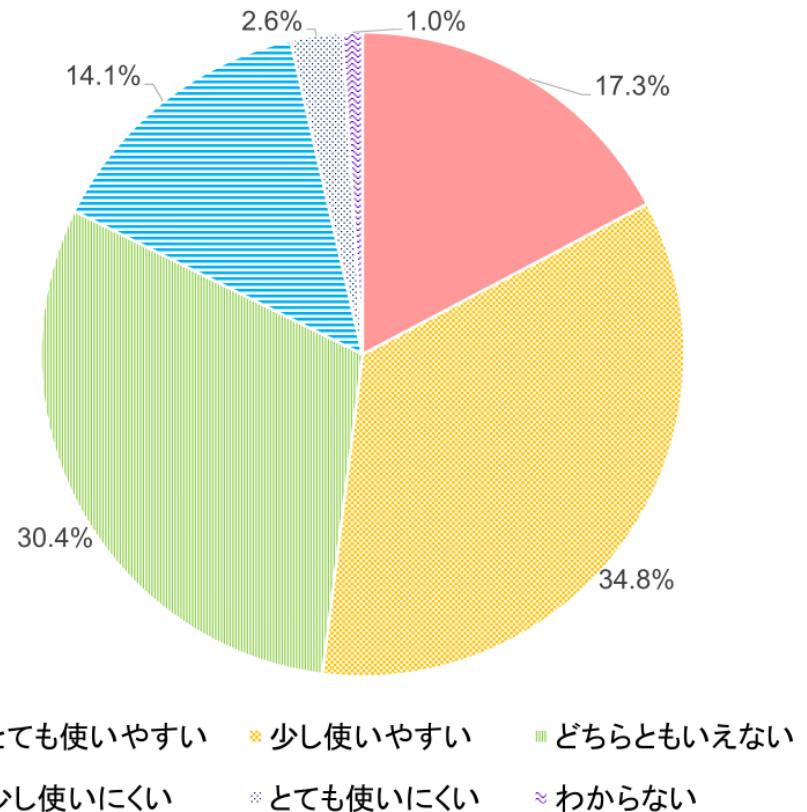
あなた自身で母子健康手帳の記録  
を書き込んだことがありますか？  
(N=313)



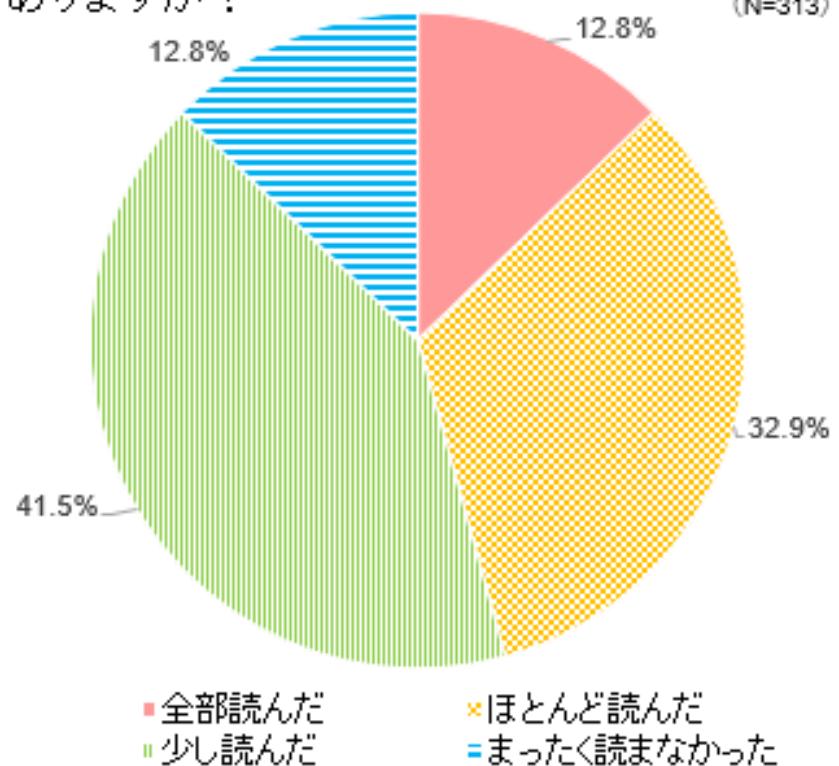
# 国内実態調査（利活用）



母子健康手帳の様式や形体は使いやすいですか？  
(N=313)



母子健康手帳の後半のページ（主に妊娠・出産・子育てに関する情報提供）を読んだことがありますか？  
(N=313)



（小松法子ら（2025）小児保健研究）

# 国内実態調査（改正版への要望 1）



|                  | n=313 |
|------------------|-------|
| ページ数を全体的に増やして欲しい | 4.2%  |
| ページ数を全体的に減らして欲しい | 33.2% |
| ページ数については、今までいい  | 28.4% |
| 手帳のサイズを大きくしてほしい  | 8.0%  |
| 手帳のサイズを小さくしてほしい  | 21.1% |
| 様式について、今までいい     | 60.4% |

# 国内実態調査（改正版への要望 2）



|                        | n=313 |
|------------------------|-------|
| 利用できる制度やサービスの情報の追加     | 32.6% |
| 父親について記載する欄の追加         | 29.7% |
| 就学以降の記録(成長曲線/予防接種)欄の追加 | 27.8% |
| 子育てに関する情報の追加           | 22.4% |
| スマホで見られるようにしてほしい       | 51.4% |
| スマホで記録できるようにしてほしい      | 57.8% |
| 電子化について期待することはない       | 32.9% |



# 母子健康手帳に関する国内外の文献レビュー

## 分担研究者

當山紀子（琉球大学医学部保健学科地域看護学 講師）

「英語論文で執筆されている母子手帳の効果に関するシステムティックレビュー」※1

## 研究協力者

大田えりか（聖路加国際大学大学院 教授）

西村悦子（聖路加国際大学大学院 大学院生）

Rahman, MD. Obaidur（国立感染症研究所 研究員）

「日本において母子手帳の果たした役割や効果に関する文献レビュー」※2

## 研究協力者

高山智美（助産院Sora 助産師）

※1 Children (Basel, Switzerland) 10(3) 2023

※2 沖縄の小児保健 50 42-51 2023

# 母子手帳記録の電子化について

災害時の紛失

多胎児、低出生体重等、個別的な対応ができるない

母子手帳がないと成長の情報や予防接種記録等が得られにくい

紛失した母子手帳の代わりに、岩手県周産期情報ネットワークが母子の妊娠経過や検査結果などを提供



自身の健康の維持管理のための健康医療情報 (PHR) の整備を8割の市民が希望

スマホアプリに胎児超音波写真や検査結果を提供する実証実験において、旅行先等での急な受診や大震災の際の活用可能性

母子手帳からQRコードを利用した情報提供、妊娠期からの子育て支援について、HP上の情報提供、メールマガジン配信サービスとの連携等を実施

# 電子母子手帳アプリ利用の懸念点

## 電子母子手帳アプリ利用の懸念点（ユーザー視点）

スマホ等のICTツールの保有が必要

転居をした際にデータの連続性が担保されない可能性

スマホの機種変更  
・故障時等にデータの紛失の可能性

## 紙の母子手帳のメリット

スマホの充電切れ等の対応が不要

余白等に手書きで自由に記入できる

スマホの機種変更・  
故障時等に、データの引継ぎが不要



出典：野村総合研究所、我が国の電子的な母子保健ツールと活用に関する実態調査、2022

# 更なる母子健康手帳の活用に向けて

- ・紙ベースの母子手帳と電子記録・情報の併用
- ・外国人家族には多言語母子手帳や紙芝居の紹介

<https://sukoyaka21.mhlw.go.jp/useful-tools/thema3/>



行政

母子手帳



↑ 電子記録

↑ 電子情報

↑ 使用方法の説明

↑ 活用の推進

内容・活用方法の周知

厚生労働省・専門職団体・学会

「母子健康手帳のグローバルな視点を加味した再評価と切れ目のない母子保健サービスに係る研究」により作成  
(研究代表者:中村安秀、分担研究者:當山紀子、他) 厚生労働科学研究費補助金 (2020-22年) 2023.04.25



# 第15回母子手帳国際会議

日時：2026年8月25日—27日

場所：ジャカルタ

主催：インドネシア大学、国際母子手帳委員会、インドネシア公衆衛生学会

写真：国際母子手帳委員会のメンバー  
(2024年：Manilaでの母子手帳国際会議にて)